

水溶液の濃さ 演習プリント

- (1) 溶解度について説明した文の空欄に適語を入れなさい
「例外を除き、固体の物質の溶解度は水温が【 】ほど大きくなる」

- (2) 溶質がこれ以上溶媒にとけなくなることを何というか答えなさい

- (3) 溶質を限度量いっぱいまで水にとかした水溶液を何というか答えなさい

- (4) 2%の食塩水450gと、15%の食塩水720gをまぜると、濃さは何%になりますか

- (5) 濃さ10%のアンモニア水100cm³と、濃さ20%のアンモニア水100cm³のどちらが重い
か答えなさい。同じ重さのときは「同じ」と答えなさい

- (6) 濃さ10%の食塩水100cm³と、濃さ20%の食塩水100cm³のどちらが重いか答えな
さい。同じ重さのときは「同じ」と答えなさい

- (7) 0℃の水に対する溶解度が35.7g、100℃の水に対する溶解度が39.3gとなる物質
を、【ほう酸、食塩、砂糖、水酸化カルシウム】の中から選び答えなさい

- (8) 水溶液にとかした溶質を、ふたたび固体として取り出したものを何と言いますか

- (9) 0℃の水に対する溶解度が2.8g、100℃の水に対する溶解度が38.0gとなる物質
を、【ほう酸、食塩、砂糖、水酸化カルシウム】の中から選び答えなさい

- (10) 溶液について説明した文の空欄に適語を入れなさい
「溶質が溶媒に均一にとけ、どこも同じ濃さで【 】になったものを溶液という」

水溶液の濃さ 演習プリント 解答

(1) 答 高い

解 固体の物質の溶解度は水温が高いほど大きくなるが、水酸化カルシウムは例外で水温が高いと溶解度は小さくなる

(2) 答 飽和

解 溶質がこれ以上溶媒にとけなくなることを飽和といい、限量まで溶質をとかした水溶液を飽和水溶液という

(3) 答 飽和水溶液

解 溶質がこれ以上溶媒にとけなくなることを飽和といい、限量まで溶質をとかした水溶液を飽和水溶液という

(4) 答 10%

解 濃さの差13%を、重さの逆比8:5で比例配分して8%だけ、2%よりも濃くなる

(5) 答 10%のアンモニア水

解 溶質の重さが水よりも軽いときは、水溶液が濃いほど同じ体積あたりの重さは軽くなる

(6) 答 20%の食塩水

解 溶質の重さが水よりも重いときは、水溶液が濃いほど同じ体積あたりの重さは重くなる

(7) 答 食塩

解 食塩は温度の変化による溶解度の変化が小さく、つねに水100gに対して36g前後がとける

(8) 答 結晶

解 水溶液にとかした溶質を、ふたたび固体として取り出したものを結晶という

(9) 答 ホウ酸

解 ホウ酸は温度の変化による溶解度の変化が大きいが、食塩ほど水にとけにくい

(10) 答 透明

解 溶質が溶媒に均一にとけ、どこも同じ濃さで透明になったものを溶液という



↑詳しい解説は作者ブログで

QRコードで移動できます